

下仁田ジオパーク



荒船山

- 荒船山は、標高1423mあります。

- 荒船山ができた日

荒船山は、今から600～300万年くらいにできたとされています。火山の働きは、約3000万年前には、終わったと考えられています。

- 荒船山は、火山が削れてできました。

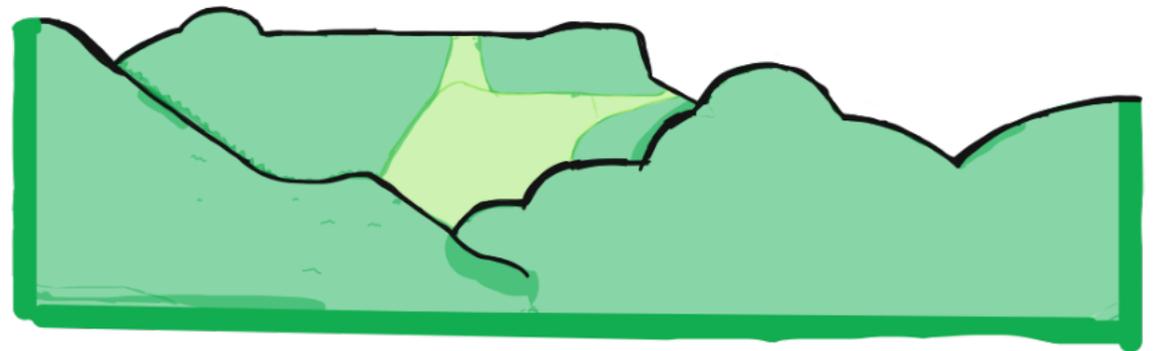
- 荒船山は、登山ができます。

- 荒船山の名前の由来

遠くから見ると荒波を割って進む船のように見えるからだとされています。

荒船山と言う山の名前になりました。

- 荒船山はなぜ平らになっているのかと言うとそれは、安山岩溶岩が侵食に強かったからです。



青岩公園



五感が感じられる綺麗な鎚川と南牧川の合流点にある青い石畳の公園で、河原ではいろとりどりの16種類の石が見つかります。

大昔の海底火山の噴出物でできた緑色の岩畳が特徴の公園。青い石畳が広がる公園で夏場には水遊びもできます。

下仁田には世界的レベルの地質学的な資料がたくさんあり地質の宝庫と言われ、日本でも5本の指に入るほど貴重な場所とも言われています。

青岩は、下仁田町だけではなくて四国地方まで中央構造線というところを通ってつながっています。

跡倉クリッペのすべり面

場所・下仁田町 青倉(下仁田町自然史館の近く)
跡倉クリッペとは、元々あった地層の上に違う地層が重なってできたといわれています。



跡倉クリッペは、別名根無し山と言います。
跡倉クリッペに行くと別の地層が動いてきて岩と岩が擦れた痕跡が見られます。

山体のどこからか上の地層の方が動いて来ました。

下から見ると上の地層が滑ってきたことがわかります。

岩と岩が擦れてツルツルの岩になりました。

下仁田の中心部から見られる山々は、跡倉クリッペの山々です。

じいとばあ



寄り添うように立つおばあさんとおじいさんに見えたから「じいとばあ」と呼ばれています。

この画像で見ると右の岩から、おばあさん岩(ババ岩ばあ)真ん中にあるのは、おじいさん岩(ジジ岩・じい)一番左にあるのがこたつと言われています。おじいさん岩(ジジ岩・じい)に料理を運ぶおばあさん岩(ババ岩ばあ)に見立てた事が由来と言われています。

一説によるとばあさんは、料理を運ぶおばあさんではなく洗濯物を畳んでいるとも言われています。じいは背後に立っていると言われていたりしています。場所・中山道の姫街道西牧関所跡から伸びる御堂山に行く途中に二つの奇石がありその二つがジィとバァです。(標高約878.5m)